

会議録

会議の名称	第6回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年5月22日（木）午後7時00分から
開催場所	新城市役所4階会議室
会議の次第	1 委員長あいさつ 2 検討 （1）開催時間及び場所の確定 （2）討論の方法 （3）キッチンカー 3 その他
欠席委員	瀬野委員

1 あいさつ

事務局から簡単なあいさつを行い、続いて委員長から開始のあいさつが行われた。

2 検討

(1) 開催時間及び場所の確定

委員長	それでは、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 10月7日夜の大ホール開催、予備日が10月9日の夜開催、10月13日午前の大ホール開催、予備日が10月15日の夜開催となっているが、具体化されていない部分を確定させる必要がある。 ・ ケーブルテレビ側としては、市の決定した内容で対応可能とのことであった。 ・ 4年前は3回とも夜で、いずれも午後7時から午後9時までの2時間で、市外へ働きに出ている人の仕事からの帰宅時間を踏まえて午後7時からと、人間の集中力的に2時間までとした。 ・ 無観客で開催する予備日の場所について、4年前は4階の会議室と勤労青少年ホームの軽運動場を使用した但、軽運動場の事前の予約ができないため対象外となり、実質的に4階会議室となる。 ・ 市民自治会議で日程等について答申内容を検討する際に、サテライトは設置しないと説明したが、置いた方が良いのではという意見が複数人からあった。
委員長	ありがとうございました。 開催時間と討論会の時間と予備日の場所について、話をしていきたいと思います。 御意見ある方はいらっしゃいますか。
委員	夜は19時から21時、午前は10時から12時の開催が良いと思いました。帰宅をして夕飯の支度をして行くことを考えると19時から、10時から12時にすると1日を有効に使えるような時間かなと思いましたので。
委員長	時間の話が出ましたので、まずはそちらからいきましょう。

事務局	補足です。 午前開催の場合には大ホールが８時半から使用できます。資材や放送の準備は前日の夜に準備をしますが、８時半以後から立候補予定者への説明、くじ引き等が考えられますので、それらを含めた準備の時間が最低でも１時間は必要として、９時半より前は難しいと思います。夜開催も前の時間から場所を押さえていますので、事前準備はその時間で可能です。
委員長	ほかにはいかがでしょうか。
委員	提案された時間で良いと思います。
委員長	それでは、１０時開始と１９時開始で進めたいと思います。 討論会自体の時間については、２時間で良いと思いますがいかがでしょうか。
委員長	良さそうですので、最長で２時間にしたいと思います。 次は無観客の場合の場所ですが、４階の会議室も利便性として良いと思いますが、場所として確保はしてありますか。
事務局	押さえています。
委員長	良さそうですね。よろしいですか。
委員長	それでは４階会議室で進めます。
委員	サテライトの話は、どのような感じで話が出ましたか。
事務局	作手の人はここまでは来ないのではという意見が強かったです。 １０人出席の中で３人くらいの方から意見があった感じです。
委員長	作手の方でしたか。
事務局	作手の方もおられました。 お一人の方からはサテライトであれば話ができるという意見でした。
委員長	どうでしょうか。 以前に決めていますし、そのままいきますか。
委員長	それでは、ここの検討は終了します。

(2) 討論の方法

委員長	続きまして討論の方法について話し合いたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 立候補予定者の人数によって討論方法を変えていく必要があり、過去の最高人数が3人のため、1人の場合・2人の場合・3人の場合を検討していきたい。 ・ 1人開催は前例がなく、特殊なため次回以降とし2人の場合・3人の場合の討論の方式を検討したい。 ・ 討論の方法としてはいくつか考えられ、司会からの質問に対して○×で回答する方式、司会からの質問に対して時間内に、例えば2分以内に口頭で回答する方式、立候補予定者同士で質問と回答をする討論方式がある。1つ目と2つ目は、前の東栄町の町長選の討論会で採用されており、3つ目は、市内での8年前と4年前の方式である。 ・ それぞれの方式で明確さ、分かりやすさ、単調さ、見ごたえ、議論の深さ等長所短所があり、どのような方法が市民への情報提供として望ましいか、4年後以降の討論会への影響なども考慮する必要がある。 ・ 討論の方法により主宰者の役割が大きく異なり、単純な進行のみの場合や回答の内容次第で次の質問をアドリブで考える場合があり、難易度も大きく異なるため、考慮要素となる。 ・ 4年前の討論会終了後の振り返りにおいて、会場からの質問の方式が話題に出た。会場からの直接質問は聞いたことがなく、質問者がその場で分かりやすく説明して質問ができるのかという人の問題と、ある候補者の支援者が他の候補者に不利になるように意図して質問をしようとする場合や誹謗中傷的な場合も想定されてしまう内容の問題の2つの課題があるため難しい。 ・ テーマ決定後にインターネット上で事前に、又は会場で開始前に

	質問を募っておき、実行委員会で不適切な質問の取捨選択をしておいて抽選で選んで質問するような形式はありえ、1人開催になった場合に单调さを緩和する要素になりえる。また、会場で提出ができる方式にすると集客要素として使える可能性がある。 • その場合には時間的な制約と内容の可否を実行委員会で判断せざるを得ないリスクがある。また、直前からの募集になるため、広報の困難さもある。立候補予定者の人数の確定は直前のため、実施する場合には全パターンで実施する選択になると思われる。
委員長	ありがとうございました。 手段としては4つ考えられ、質問への○×回答方式・質問への口頭での回答方式、立候補予定者間での直接討論方式、会場等からの質問方式があります。偶発性がある方が人柄や本音が伝わりますし、どのような方法が市民への情報提供としてより良いか議論ができればと思います。
委員	質問への○×方式や口頭での回答方式は話が分かりやすくスムーズに入ってくるように思います。質問も多くできるので、数を考えると良い方法かなと思います。 立候補予定者同士での討論方式は、内容が立候補予定者次第になるため分かりにくくなったりすることも考えられますので、進行側での管理が難しく思います。ずっとは効率的ではないように感じました。 司会者からの質問の場合に、用意した質問だけとすると偶発性があまりなくなるため、司会者の腕に頼ることになりますが、3つくらい議論のポイントを設定してそこを経由しながら進められるようにしていくと分かりやすく良いと思います。質問する人の難易度が高いですが。 最後に会場からの質問ですが、QRを用意してスマホからその場で入力してもらってスライドで流すことができればと思いますが、きっとできませんので先ほどのように受付で集める方法が現実的ではあるのかなと思いました。

委員長	スライドで流す方法は、技術的には可能ですが怖いですね。面白いですし盛り上がると思います。
委員	他市町村の討論会をこれまで見てきた感想ですが、質問に対して時間内に口頭で回答していく形式は面白くありません。面白さで判断すべきではないかもしれませんが。新城では、8年前、4年前、県議選と3回当事者同士での討論方式を実施していますので、それをより良くしていく方が良いかと思います。 県議選のときはどうでしたか。
委員	盛り上がるかと思いましたが、「ありません」で一通り話をして終わってしまって困りました。
委員	あのときは1人の方がカリカリしていましたね。そういうところが見えることは判断材料になるのかなと思います。色々な面が見えるようにする方が良いかなと思います。 会場からの質問は時間的に無理だと思い、8年前は自己紹介の中でABCから会場の拍手で選択をしてもらうような方式を会場を巻き込む1つの手段として採りました。当事者同士での討論方式をより良くしていきたいです。
委員長	ありがとうございます。 共通事項として、偶発性といいますか、ふとした一面が垣間見えるようにする方法を考えたいということですね。私もそこは同意します。
委員	当事者同士での討論の方が面白いということは同意しますが、豊橋のアリーナのようなとても関心の高いものがあればと思いますが、アンケート結果を見てもこれというものがないので、少ない分野を掘り下げるよりも広い分野について聞きたいです。質問に対する回答を2分でするような方式が良いと思いました。 ○×で挙げてもらってそれから時間内に回答をする形は、テレビ番組でもありますが視覚的に分かりやすく良いと思います。
委員	現職以外の立候補しようとする方は、今の市政に課題があると感じているから立候補するのではないのでしょうか。ですので、盛り上がる

	ような議論はできると思います。
委員長	広く聞きたいのか、深く聞きたいのかという観点がありますね。深くの方は対立軸があるのかで議論が変わってくるとは思いますが。
委員	自分の思いを伝えるのに2分で足りますか。
事務局	2分は一例です。
委員長	多くが2分、3分で、4、5分のケースは減多にないです。
委員	何分であってもその人の力量が出るだけですね。それをどう判断するかは人によりますが。 候補者同士での討論の方が面白いと思います。対立したものとなるか同意見で終わってしまうかは分かりませんが。○×については、後から要約したときに分かりやすい利点があると思います。会場での質問については、事前にネットで集めておいた質問の10個の中から会場で選んでもらうようなことができると思います。
委員	8年前は、人柄が出るようないくつかの工夫をしましたが、その中の1つに回答時間を使い切ったときの反応があって、あえて回答終了を促す合図を出さずに見守るようにしました。続ける人、終了する人があり、反応が異なりました。意地悪くではないですが、そういった人柄が見える工夫は必要かと思います。
委員長	いずれ推薦委員が入ってきますので、意地悪い感じの工夫は受け入れられないかもしれません。仕掛けをするにしても方法は考える必要はありますね。
委員	それぞれの方法を混ぜるので良いのではないのでしょうか。自己紹介に1つ話題を入れて、その後で○×を入れて、それからその理由を話す時間を設けて、それらや事前や会場からの質問を踏まえての討論に入るような感じです。
委員長	まとめるとそうですね。
事務局	最長で2時間ですから、現実的にはそうなるように思います。テーマ次第で、広い内容となるよう○×などを多く、深い内容となるよう討論を多く、という選択もありえるかと思います。

委員	○×もパッパッと進めていくことも。
委員長	東栄町のときは○×は何問でしたか。
委員	10問です。
委員	現職を除けば、立候補しようとする人は現在の市政とは違う思いを持っているから出ようと思うはずですので、対立構造をはっきりさせた方が分かりやすいと思います。こちらからの質問形式ではなくて、そちらの方が。
委員	立候補しようとする人がどういう意図、真意で立候補するかをこちらで推測するのは危険だと思います。
委員	先程のとおり最終的には推薦委員が入りますよね。
委員長	そうですね。
委員	そうすると立候補予定者側として着地点の予測ができてしまいますよね。
委員長	そうすると作り方としてもこちらがリスクを負う方が良いかもしれません。
事務局	4年前は、途中までは推薦委員の方が出席していましたが、最後の詰め段階では出席をしないでもらう形としました。自己紹介に混ぜてもらって質問を本番まで分からないようにしたので。今回もそのようにするとしても、ただ、テーマなどの大筋は分かる状態ですので、着地点対策としてどこまでかは分かりませんが。
委員	質問ですが、流れが分かってしまうと人柄が見えないということですか。
委員長	どういう面を見たいかということですが、話したい内容は事前に準備をしてくるはずですので、準備をしてきた場合の面は自然と見ることが出来ます。もう一つ準備のないところでの対応の面も討論会で見たいところだと思います。そういったときの立ち振る舞いは大切だと個人的には思っていますし、そういった資質を見るために偶発的なものを用意できた方が選ぶためのポイントが増えるかなと思います。 先程のネットでの事前意見を会場で選んでもらって質問するという

	やり方は、もめにくくて偶発性を見る方法として良いかなと思います。偶発性を考えるとくじで選ぶような方法もありかと思いますが。
委員長	それでは、自己紹介と本人の主張のようなもの、次に広くできるように○×、最後に立候補予定者同士での討論か事前・会場か実行委員会が用意する質問、ディスカッション形式にするのか主宰がメインとするのかはありますが、そのようなイメージですかね。
委員	○×を入れてほかの形式をプラスする方法は良いなと思いました。人柄が見えるような偶発性のあるものもそれを見る良い機会かなと思いますし、その人のリーダー像を聞いてみたいですので、その機会があると良いなと思います。
委員長	市長像は気になりますね。 今日は主宰者の件はどこまで話しますか。誰にするかまでいきますか。
事務局	今回は、進行を考える際には、主宰者・司会者の役割や難易度が大きく変わりますのでそこを考慮する必要があるということで話に出したというところです。4年前は純粋な司会進行役と時間管理が役割でしたが、実行委員会でその役を行いました。担う役割の内容次第で、委員で行うか外部の人に依頼するのかは変わってきます。具体化は現段階では考えていません。
委員長	ちなみに現時点で立候補したい人はいますか。
委員	委員長にお願いしたいです。
事務局	4年前は1回引き受けてもらいましたね。
委員長	司会しましたね。拒絶するつもりはないですが、今回は2回ありますから。
委員	1人開催のときは大変ですね。
事務局	おそらく1人開催のときが一番大変です。
委員長	1人開催のときは、会場意見をスライドゥーで表示する方法を本気で考えます。全ての意見を表示するのは危険ですので、そういったものを除く手段があるかですが。

事務局	事前に募集した内容であれば編集して流したりはできますが、リアルタイムだと流れていってしまいます。ですので、2つ準備をして、一方は実際の意見が流れるもの、もう一方は会場に表示する用で、裏で実際の意見を見て流せないものを除いて再度入力して流すような方法は考えられますが。
委員長	その方法だと打つ人を3人くらい、流せないものを判断する人を1人くらいが必要になりそうです。 それではこの辺りにしたいと思いますが、ほかにありますか。
事務局	確認ですが、質問の事前募集や会場での意見募集のようなものはありということですね。
委員長	具体的な方法は考える必要はありますが、ここまでの話からすると事前の質問の募集はありということです。
事務局	実施する場合には広報に掲載する準備等が必要ですので確認をしました。

(3) キッチンカー

委員長	続きましてキッチンカーについて話したいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ キッチンカーの準備を進めていく。 ・ 市内事業者か市外事業者かを少し気にしている。考えすぎではあるが、市が実施する事業であるため、現職が出る場合に市長部局の事業からの間接的な利害関係が発生することから、意見をいただきたい。
委員長	つまり市内の事業者の方のキッチンカー出店で支障ありますかということですね。問題ないように思いますが。
委員	問題ないと思いますが、討論会だけでキッチンカーは大丈夫でしょうか。
委員	キッチンカーが来るイベントの横で討論会が開催されている方が良

	いような気がします。
委員長	みなとも一るの開催ができれば良いとは思いますが。
委員	キッチンカーに限らず出店できるかもしれません。
委員長	今回の市の事業は、お金の動きはないものとする必要があると思いますので、出店者と主催者の間でも、そうすると主催者は完全にボランティアになるのはネックです。
委員	東栄町ではキッチンカー来ていましたよね。
委員長	あそこは自治体ではなく任意団体での実施です。
事務局	市の主催でなくなる場合だと広報がしづらくなるのが気になります。
委員長	そうすると市で募集をして、手を挙げてくれた方に、特に条件は付けずに来ていただく形が良さそうですね。
委員	公募すると集まりすぎますか。個別に声をかけると問題があるのであれば、公募するとかでどうでしょうか。
事務局	自分としては集まりすぎる方ではなく応募がない方が心配です。
委員	集まらなかったら個別に依頼する方法で良いと思います。
事務局	現実的には、そうなってくるのかなと思っています。声のかけ方は考える必要がありますが、その方法で良いのかなとは思っています。
委員長	市内でもキッチンカーがある事業者の方はいくつか挙げられます。
委員	キッチンカーにしなくても良ければ出してくれる方はいるとは思いますが。
委員長	テント出店ですね。それだと広がります。
委員	フリーマーケットみたいな。
事務局	どういうお店を想定しているか、投げかけの仕方かなと思います。
委員長	キッチンカーのメリットは、準備時間と撤収時間が短いところです。
事務局	雨天の場合も想定されますね。
委員長	雨天だと大ホール入口の軒の部分になりますが。
事務局	その場所だと、大きなスペースではないので、車では5台程度が限

	界でしょうか。
委員長	来場者数を考えても10台もあると逆に。
委員	飲食の場所は。
委員長	昔の喫茶店のエリアと1階は食事ができたと思います。
事務局	絨毯じゃないところは、だったかな。
委員長	そこを借りて解放すれば。
委員	思いのほか難しかったですね。

3 その他

次回の日程

6月26日（木）午後7時から